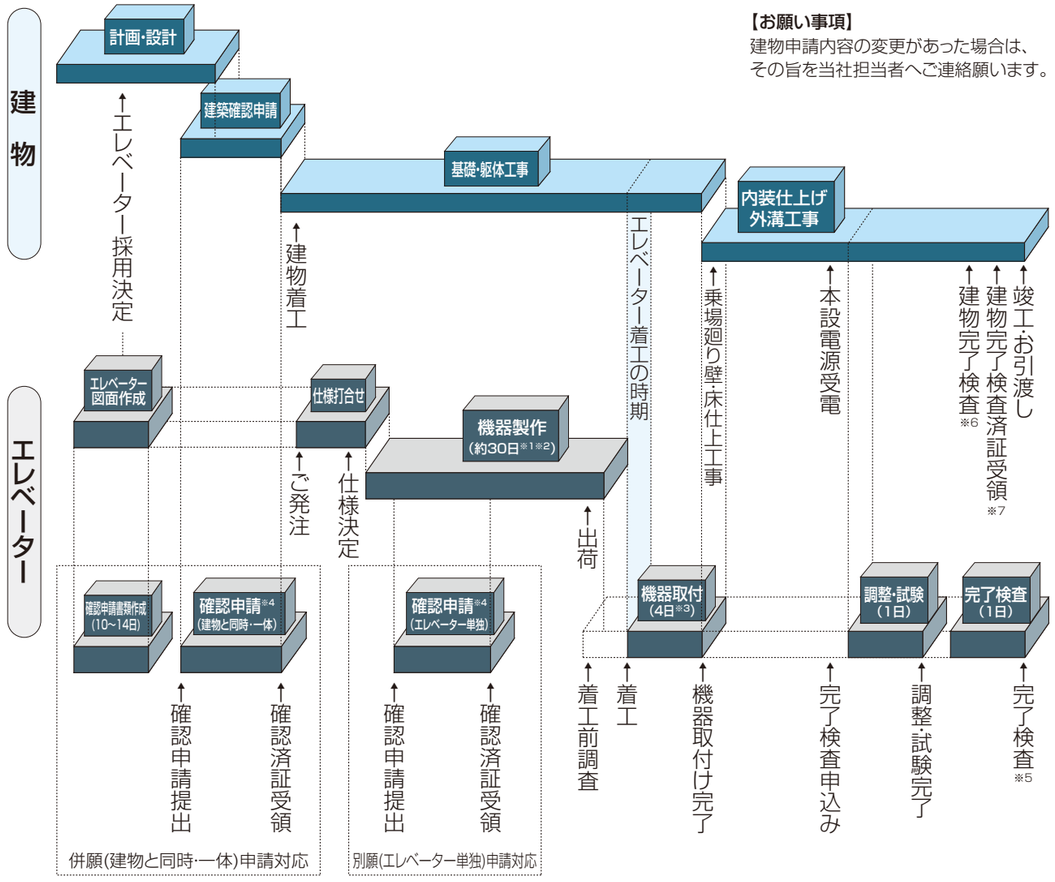
ご発注からお引渡しまで

標準的な工程



【お願い事項】
建物申請内容の変更があった場合は、
その旨を当社担当者へご連絡願います。

仕様決定・ご連絡事項

ご発注に際しては、下記の項目についてご連絡ください。
なお、エレベーターの製作着手後の仕様変更は、費用と納期の変更を伴います。また、各寸法は建築工事での誤差は考慮していません。ご注意ください。

(1) 建物名称・建設地住所・工期

(2) 建築確認番号・日付

(3) エレベーター仕様

- ●機種名
- ●ルームデザイン
- ●ルームカラー
- ●乗場デザイン
- ●乗場カラー
- ●各階階高
- ●停止箇所
- ●建物構造（昇降路の構造）
- ●電源周波数
- ●オプション

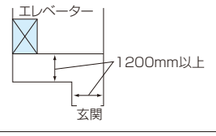
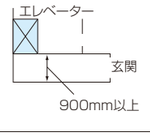
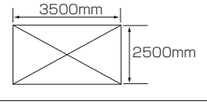
エレベーター着工の時期

建物の構造		現場着工時期
鉄骨造		屋根、床まわり工事、昇降路の壁工事完了後で、造作（内装）工事着手前
コンクリート造		躯体のコンクリート打ち型枠解体工事完了後で、造作（内装）工事着手前
木造	軸組工法	屋根、床まわり工事、昇降路の壁工事完了後で、造作（内装）工事着手前
木造	ツーバイフォー工法	屋根、外壁、床まわり工事、昇降路の壁工事完了後で、造作（内装）工事着手前

※1 遠隔地を除く。
※2 ファミスリムの場合は約40日。
※3 Rメートの場合は約12日。
※4 建物の種別によって、エレベーター確認申請の提出方法が異なります。(詳しくは7~8ページを参照ください)
※5 併願申請の場合、建物と合わせてエレベーター完了検査を行います。
※6 建物完了検査の日程を事前に 当社担当者に連絡願います。
※7 建物完了検査済証の写しを当社担当者にお渡しください。

搬入経路と保管場所

エレベーター着工時の搬入経路と、工事期間中の保管場所を確保してください。

①搬入経路のスペース確保	通路(玄関→ホール→昇降路)所要幅 通路が曲がっている場合  通路がまっすぐな場合  	②保管場所	1階のエレベーター付近に下図の保管スペースを確保してください。また、雨水のあたらない場所としてください。 

建築設計・施工上のご注意

項目	詳細	チェック
昇降路の築造	●ピット部分から屋根裏まで立ち上げてください。	
階段設置	●機器取付、調整・試験、完了検査の工程において、全ての階へ移動するための階段を設けてください。	
昇降路有効寸法の確保	●昇降路内のボードや耐火被覆、およびピット内にフーチンや柱脚、防水仕上げなどがある場合には、その内側から有効寸法を確保してください。(各階で有効寸法が異なる場合は、最小の間口寸法および奥行寸法が昇降路の有効寸法となります)	
昇降路内の仕上げ工事	●昇降路はピット部分から屋根裏まですき間がないように仕上げてください。 ●ファスナープレート以外に出張りがないように仕上げてください。 ●昇降路内にはエレベーターに使用する電源線・電話線以外に他の電線や配管などを設けることはできません。(建築基準法施行令による) ●昇降路の壁は任意の5㎠の面にこれと直角方向の300Nの力が昇降路外から作用した場合において15mmを超える変形が生じず、かつ塑性変形を生じない構造としてください。 ●昇降路内壁の内側に、梁などの突出物が出ないようにしてください。やむを得ず突出物が出てくる場合には、建築側で突出物の面に合わせて、壁等の間仕切りを設けてください。	
防火区画	●防火区画(竪穴区画等)が適用される建物の場合、昇降路内壁を法令で定める材質で施工してください。	
ピットの築造	●厚さ200mm 以上のシングル配筋のコンクリート床としてください。 ●コンクリート設計基準強度を21N/㎟以上としてください。 ●鉄筋入りのコンクリートの立上がりを施工してください。(厚さ120mm以上) ●ピット内に漏水などの恐れがある場合は、防水仕上げをしてください。(厚さ20㎜以内) ●ピット内には換気口、排水口などを設けないでください。(建築基準法施行令による) ●コンクリートブロックではエレベーターのレール固定ができないため、使用しないでください。 ●ピット床には配管等を埋め込まないでください。	
荷揚げ用梁・フックの設置	●吊荷重4900N(500kg)に耐えられるものとしてください。 ●最上階床仕上げ面から梁・フック下部まで2400mm以上確保してください。 (「スイ~とホームS DXアバンティ」は2450mm以上、「スイ~とモアS モアグランデ」は2500mm以上、「スイ~とメゾン Rメート」は2750mm以上) ●荷揚げ用梁を荷重支持用梁と同じ高さには設置しないでください。 ●荷揚げ用梁の上端から昇降路頂部までのすき間を50mm 以上確保してください。 ●荷揚げ用梁の下部にてボード施工する場合、ボードの中心に300mm×300mm の開口を用意してください。また、エレベーター据付後に開口を塞ぎますので、ボードなどを支給してください。 ●RC造の場合、荷揚げ用フックは、鉄筋φ13以上のものを使用し、建物の配筋に巻き込んで施工してください。	
出入口穴あけ寸法の確保	●スイ~とホームS グランデ/ファミリー/DXアバンティ/DX煌/DXファインウッド/ファミロング/スイ~とモアS モアプラス/モアロング/モアスタンダード/スイ~とメゾン Rプラス 間口1325mm×高さ2200mm(遮煙乗場ドア適用の場合は、間口1340mmとなります) ●スイ~とホームS ファミスリム 間口1040mm×高さ2250mm ●スイ~とホームS コンパクト 間口1150mm×高さ2200mm(遮煙乗場ドア適用の場合は、間口1165mmとなります) ●スイ~とホームS ジュニア 間口1670mm×高さ2200mm ●スイ~とモアS モアグランデおよび出入口・天井高さ100mmUP(オプション)適用の場合 間口1325mm×高さ2300mm(遮煙乗場ドア適用の場合は、間口1340mmとなります) ●スイ~とメゾン Rメート 間口1450mm×高さ2300mm(木造の場合は、間口1500mmとなります)	
機器取付用の梁・ファスナープレート・乗場枠固定用下地材等の設置	●木造 荷重支持用梁(四方向)の施工 乗場枠固定用下地材の設置(二方向出入口オプション採用時、機種によっては、昇降路左右の壁に下地材が必要になります) ●鉄骨造 荷重支持用梁・ファスナープレート(長穴施工含む)の取付工事 乗場枠固定用下地材の設置(二方向出入口オプション採用時、機種によっては、昇降路左右の壁に下地材が必要になります) ●コンクリート造 レール・乗場固定用コンクリート壁の施工	
電源の準備	●昇降路内への電源線の引込み工事 ●工事用の仮設電源(100V・200V)供給工事	
各種線出し及び設備の設置(該当オプション採用の場合)	●以下のオプションが採用されているときは、設備の設置及び昇降路への各種線出しが必要となります。 ・火災時管制運転　・遮煙乗場ドア ・非常放送用スピーカー(「スイ~とモアS ファミスリム、ジュニア」「スイ~とメゾン R プラス、R メート」は対象外) ・インターホン(対象機種はスイ~とモアS シリーズのみ ※「スイ~とモアS モアグランデ、モアプラス」は標準装備) ※インターホンは、原則最下階乗場枠に設置されます。親機を管理人室に設置する場合のみ対象です。 ・ルーム内防犯カメラ(「スイ~とモアS モアプラス」「スイ~とメゾン Rプラス」「スイ~とメゾン Rメート」のみ)	
電話線の準備	●昇降路の最下階側壁に中継ボックスの設置・電話線の引込み工事(「スイ~とメゾン R メート」は、昇降路の最上階側壁に中継ボックスの設置・電話線の引込み工事となります)	
乗場ユニット取付後の仕上げ工事	●壁・床仕上げ工事	
昇降路内煙感知器	●消防法により、火災報知設備の中の1つである煙感知器を昇降路頂部に設置する場合、エレベーターの運行に支障を与えることがなく、保守点検が容易に行うことができる点検口を設けてください。点検口には、かぎ(ネジも可、但し蝶ネジは不可)を用いて開く施錠装置を設け、点検者の安全を確保するため、点検口扉が開いた時はエレベーターの動力を切り、動かないようにしてください。 ●点検口を取付ける場合、昇降路寸法は標準寸法と異なる場合があります。詳しくは当社までお問い合わせください。	

不明点や技術的な相談は、当社までお問い合わせください。